

古民家の野外博物館

# 日本民家園だより

平成元年度第1号

《通号第16号》

発行 1. 5. 1

川崎市立日本民家園

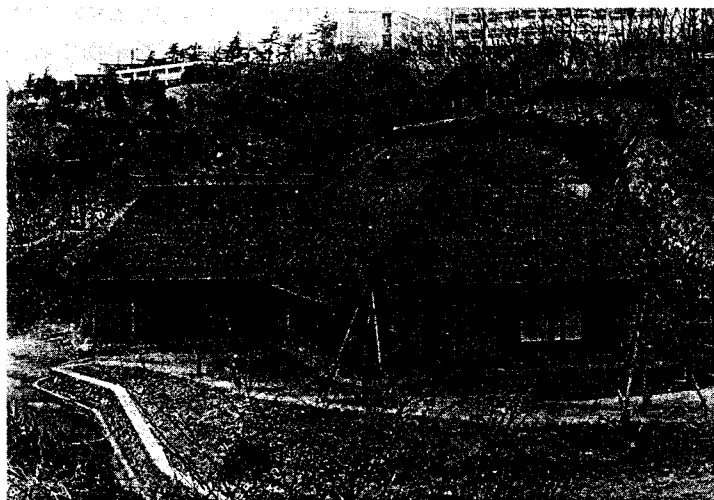
川崎市多摩区枳形7-1-1

電話(044)922-2180-1

印刷(資)永申社

## 南部の曲り屋、旧工藤家住宅

- 旧工藤家住宅
- 国指定重要文化財
- 寄棟造り、茅葺き（L字型）
- 平面積 256.9㎡
- 旧所在地 岩手県紫波郡紫波町舟久保字小屋敷120
- 昭和44年10月 工藤儀吉氏より川崎市に寄贈
- 昭和44年12月 国重要文化財に指定される
- 昭和44年度 解体・輸送・格納工事を実施
- 昭和46年6月 移築復原工事完了



旧工藤家住宅

■大きな「うまや」がある、平面がL字型の家  
日本の民家は各地にいろいろの名でL字型の家がありますが、「南部の曲り屋」というファンタジックな名で遠野を中心とした岩手の民家は多くの人々に知られています。南部駒を育てるため多くの馬を入れる必要から、曲って出た部分がほとんど「うまや」であり、「ほらまえ」と呼ばれる入隅に大戸口があるのが平面の特徴です。これと似たものに「秋田の中門造り」がありますが、こちらは出っ張った部分に廊下があり、ここを通過して正面から出入りするという違いがあります。

馬を市に出すという生活形態上、南部の曲り屋にはそう古いものはなく、あっても後の時代

に出っ張り部分を増築したものが多いのですが、この家は最初から曲り屋として建てられたもので、建築年代は大工甚六がつくった米櫃に宝暦9年（1759）とあることや構造形式からみてほぼこの頃であろうと推定されます。

だいどころのいろりの暖かい空気がうまやの上に流れ馬の背を暖めるという話に、商品とはいえ馬に寄せた人々の愛情が感じられる家です。

### ■みどころ

- 大きな規模の家であること
- ひろい「うまや」 ●L字型の平面
- 大戸口の位置 など

# 民家園本館建設はじまる

日本民家園は、失われつつある日本の伝統的な民家とそれに関連する民具等を収集し、保存・公開するために、昭和42年に開園されました。現在では、22件の古民家等を有する野外博物館として高く評価されています。しかし、このように優れた古民家・民具等の資料を持ちながら、現在の活動や整備の状況では、その魅力が十分に活かされておらず、また博物館としての機能を充実させるためにも本館建設の必要性が民家園協議会から提言されました。このことについて本園では検討を重ねた末、昭和63年9月の定例市議会において本館建設の補正予算を計上して可決され、ここに本館建設計画が本格的にスタートすることになりました。

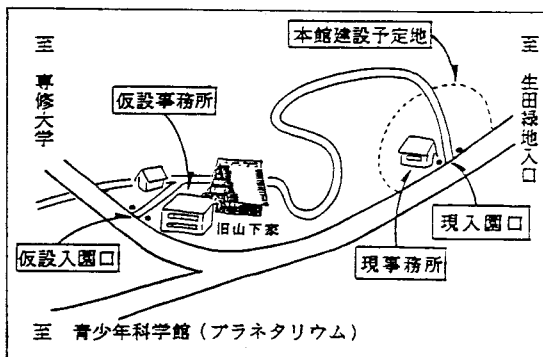
本館は民家園の顔となるものです。周辺の地形や展示民家等との景観の調和、園内の敷地等を総合的に考慮した結果、本館は2つの棟から構成されることに決まりました。1つは伝統的な木造建築技術を駆使した明治期の家屋で、もう1つは現代建築の建物です。それぞれの建物の特徴を活かした機能的な本館が建設される予定です。

## <今年度の主な事業>

1. 本館予定地の敷地造成工事
2. 本館建物の一部工事
3. 展示企画・調査設計委託
4. 展示資料収集・整理委託

## <お知らせ>

造成工事に伴い6月中旬から入園口・事務所等が右図のように変更になります。



# 端午の節供と女の家

5月5日の端午の節供はもともと中国から伝わったものです。この日古く中国では、菖草を摘み蘭の湯にはいり五色の糸を肘にかけ、また蓬の<sup>ヨモギ</sup>人形や菖蒲などを戸口にさすなど病気や災厄をはらう行事が行われていました。これが日本の宮廷に伝わり、後の武家の時代になると流鏝馬<sup>ヤブサメ</sup>などが行われ、一般にも石合戦や凧上げなど勇壮な行事が端午に集中するようになりました。江戸時代になると雛節供に対する男子の節供とされて五節供の一つとして重んぜられました。中国での蘭湯は菖蒲湯の、また蓬の人形と五色の糸は五月人形と吹き流しの原形であると考えられています。

しかし日本にはこれとは別な固有の習俗がありました。それは、5月4日の晩を「女の家」「女の夜」「女の天下」などとよび、この夜ばかりは畳半畳が女の所有になるとか女が男に酒をふるまう晩だというもの。川崎市多摩区の細山でも、5月5日に菖蒲を三本入口正面の屋根にさすことを「女の屋根を葺く」といい、この日は女の威張れる日だとも伝えていました。古く五月という月は、田植えの際に降臨する田の神を迎えるために早乙女<sup>コモ</sup>が家に籠り身を清める<sup>モノイミ</sup>物忌の時期でした。5月5日の節供は、日本では本来このような女の忌み籠りのまつりであったと考えられ、「女の家」はその名残りであるといえます。信仰の形態が変化し女性が神祭をつかさどる機会が減り、女の威張れる日であった5月の節供は、現在では男のまつりの陰に隠れて忘れられつつあるようです。

# 春だ、まつりだ、民家園だ!

## ～ 日本民家園まつりのご案内 ～

春です。民家園では、5月2日から31日まで恒例の“日本民家園まつり”が開催されます。暖かな日差しと新緑のまぶしい民家園へ、ご家族連れで、お友達と……いかがですか？



### 民俗芸能公演

とき 14日, 12時30分 (雨天21日)  
 ところ 旧船越の歌舞伎舞台  
 演目 ○祭囃子・獅子舞・手おどり  
 ○有馬大正踊八木節 ○ねぎ舞  
 ○伊勢拾式座神楽獅子舞

民具手づくりコーナー 5, 14, 21日  
 民具着用体験 7, 14, 21, 28日  
 民俗資料の展示 2～31日  
 いずれも旧作田家住宅および庭で行なっています。ご入園の方なら、どなたでも自由にご参加いただけます。

### 古民家みどころ紹介

7, 28日  
 園内5つのコーナーから各1～2件、計数件の古民家を選び、それぞれ古民家のみどころ、特徴をご説明します。見学中「？」と思ったら腕章を着けた解説員へどうぞ

こども写生会 3, 4, 5日  
 スケッチ展 14～31日  
 写生会(クレヨン・画用紙貸与)で描いていただいた作品でスケッチ展を行ないます。



## 7月までの行事案内

- ◆ 民家に学ぼう会 < 6/18・25 > ○定員30名 ○申込み5/21  
 から往復ハガキで先着順 ○受講料無料
- ◆ 民具づくり教室—竹細工— < 7/9・16・23 > ○定員25名  
 ○申込み6/25から往復ハガキで先着順 ○教材費4,200円

### 年中行事展示

- 5月 端午の節供
- 7月 七夕まつり  
 マンガ  
 万歳洗い

# 園の動き

## ◆ 体験学習 -草ダンゴ作り-<2/26>

多摩農協婦人部の協力のもと、ヨモギ入りの草ダンゴを作りました。14名の参加がありました。

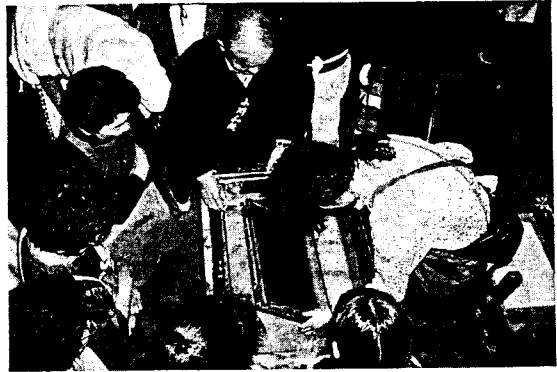
## ◆ 昭和63年度第4回民家園協議会開催<3/9>

## ◆ 民具づくり教室 -紙すき-<3/12>

埼玉県小川和紙工業協同組合より講師を招き、受講者に紙すきの最終工程を体験していただきました。参加者は24名でした。

## ◆ 旧岩澤家住宅復原敷地造成工事完了<3/31>

◆ 人事異動<4/1> 4月1日付で人事異動がありました。早野清園長が3月31日をもって退職し、新たに(財)川崎市立学校教職員互助会から大石照蔵園長が着任しました。



真剣に紙をすく参加者

## 昭和63年度入園者統計

昨年度の入園者統計がまとまりましたのでお知らせします。昨年4月から本年3月までの総入園者数は109,774人で、内70,247人が成人、39,527人が未成人でした。成人は全体の約64%にあたり、

この割合は過去最高となっています。

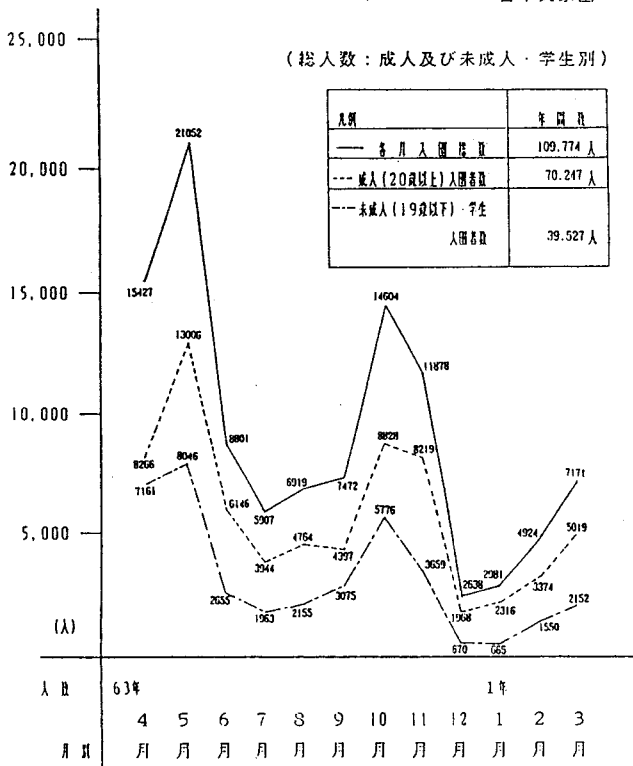
昭和57年度の165,000人をピークに続いている入園者の減少傾向は昨年度もさらに進んでしまいましたが、その原因の一端に未成人入園者の減少が影響しているようです。

なお昨年度の月別入園状況の内訳は左のグラフの通りです。

昭和63年度月別入園状況

日本民家園

(総人数：成人及び未成人・学生別)



## 編集後記

本年度の民家園は、いよいよ念願の本館建設に着手します。より充実した博物館活動を目指して検討が加えられてきた本館建設基本計画が具体化することで、民家園も新たな局面を迎えます。工事等で入園者の皆さんになにかとご迷惑をおかけするかと思いますが、しばらくご辛抱をお願いいたします。(S)